

株式会社西村鉄建工業 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025年12月18日

株式会社北洋銀行
森支店

1. 基本情報

企業名	株式会社西村鉄建工業	
代表者名	西村 昌一	
所在地	本社・工場 北海道茅部郡森町字砂原西4丁目220番地の12	
資本金	3,000万円	
従業員	21名(2025年11月現在)	
業種	鉄骨加工・建設業	
事業内容	・鉄骨加工 ・建物新築・増改築工事	
グループ会社	・特定非営利活動法人ラメールもり(介護付有料老人ホーム) ・有限会社フレスコ(ビジネスホテル) ・ハウシン株式会社(不動産賃貸業)	
沿革	1976年	西村豊氏が西村鉄工を創業
	1980年	有限会社西村鉄建工業設立 資本金 2,000万円
	1995年	第2工場建設
	1996年	株式会社へ改組
	1999年	資本金 3,000万円に増資
	2001年	第3工場建設
	2017年	西村豊氏代取退任し取締役会長に、西村昌一氏が代表取締役に就任
	2019年	ステンレス工場建設

2. 経営理念

経営理念

道内のS造建築を支える鉄骨ファブrikレーターとして、また自らも建設会社として。
地域性に重点を置き移りゆくものと変わらぬものの融合をはかります。

上記の経営理念は、西村鉄建工業の事業の根幹にある価値観を表している。

北海道道南エリアで鉄骨と建築の両方を手掛ける企業は少ないが、その環境に甘えることなく、常にお客様を優先し、また新工法への対応やそのための設備投資にも投資も積極的に取り組んでいる。

また、地域社会との協力や環境への配慮は、西村鉄建工業の事業活動の一部であり、持続的な成長と発展のために不可欠であると捉えている。当社は誠実なものづくりと環境への配慮を大切にすることで、地域社会と共に発展を目指している。

3. 事業概要

株式会社西村鉄建工業は、昭和 51 年(1976 年)に設立され、2026 年に創業 50 年を迎える鉄骨ファブリーケーターである。本道南部・茅部郡森町に本社工場を構え、国土交通省の認定工場(R グレード)として全国の建設現場に向けて鉄骨の製作・供給を行っている。当社は鉄骨製作と建設工事の双方を手がける地域密着型の企業として、産業施設や公共施設など多様な建設需要に対応している。

森町は函館圏との結びつきが強く、工場、物流施設、商業施設、医療機関、学校など幅広い建築需要が存在する地域である。西村鉄建工業はこうした需要に対し、S 造(鉄骨造)建築物の鉄骨製作と建設工事を一体的に提供し、地域インフラを支える重要な企業としての役割を担ってきた。

鉄骨製作部門では、官公庁や中堅～大手ゼネコンとの取引が中心であり、景気変動の影響を受けにくい安定した受注基盤を持つ。月産約 100 トン(1～2 棟分)の製作能力を備え、品質、納期、技術において継続的に高い評価を獲得している。建設工事部門では元請として森町を中心に公共工事を多数受注し、地域の社会インフラ整備に貢献している。

また西村鉄建工業は、国土交通省が認定する「鉄骨製作工場認定制度」において、現在の R グレード(中位区分)から、より高度な品質管理・技術体制が求められる上位区分である M グレード取得を目指して準備を進めている。中期経営計画では売上 10 億円企業への成長を掲げており、現在の6億円規模からさらなる事業拡大を図る方針である。

【写真①：本社工場外観】



出所：西村鉄建工業 提供資料

- **品質と安全性を軸とした施工体制**

西村鉄建工業は、品質確保と安全管理を事業運営の基盤と位置づけている。鉄骨製作工程では、溶接品質や寸法精度の確認、工程管理など、国の認定工場として求められる基準に基づき厳格な品質管理を徹底している。建方および施工段階でも、熟練技術者による計画的な施工、安全確認、現場パトロールの実施など、日常的な安全活動により高品質な施工を実現している。

これらの取り組みによって西村鉄建工業は取引先から高い信頼を獲得し、安定的な受注や企業価値向上につながっている。

【写真②：鉄骨製作の様子】



出所：西村鉄建工業 提供

- **人材育成と働きやすさを重視した企業運営**

2代目となる西村昌一社長は、社員が安心して長く働ける職場づくりを重要な経営課題として掲げている。年間休日を87日から105日へ増加させ、有給休暇取得率は70%を超える水準へと向上している。さらに、退職金制度、社宅・住宅支援制度、資格取得支援制度（施工管理技士、溶接資格等）を整備し、社員のキャリア形成を積極的に支援している。また、提携保険会社のサポートを受けて「健康経営」を実践している。この取り組みを通して生産性向上、企業価値の向上およびその家族の健やかで充実した人生の実現に貢献している。

こうした取り組みにより、社員の定着率向上だけでなく、技術人材の育成が進み、将来のMグレード取得や事業拡大を見据えた組織体制の強化が着実に進展している。幹部候補や品質管理担当者の採用にも積極的に取り組み、持続的な成長を支える人材戦略を推進している。

【写真③：社員旅行の様子】



出所：西村鉄建工業 提供資料

● 地域共生と地域への貢献

西村鉄建工業は創業以来、森町を中心とした公共工事に継続的に関わり、地域のインフラ整備や公共施設の維持に大きく寄与してきた。地域企業や行政との協働を通じて、地域の産業活動を支える建設企業としての信頼を積み重ねている。鉄骨製作と建設工事を一体的に提供する同社の事業は、道南地域のまちづくりに欠かせない存在となっている。

● 事業構成と今後の展望

現在の売上規模は約 6 億円であり、西村鉄建工業は中期的に売上 10 億円規模の企業への成長を目指している。従業員数については現状の 21 名から 30 名への拡大を計画し、鉄骨製作部門ならびに建設工事部門の双方で組織体制の強化を進めている。

事業構成は鉄骨製作が全体の約 7 割、建設工事が約 3 割を占め、両事業が相互に補完し合う体制をとっている。認定工場区分については、国土交通省による「鉄骨製作工場認定制度」において、現在の R グレード(中位区分)から、より高い品質管理基準が求められる M グレード取得を目標に体制整備を進めている。

西村鉄建工業は、鉄骨製作能力の強化、建設部門の拡充、組織づくりを通じて、地域の基盤企業として今後も持続的な成長を力強く実現していく。

● SDGsの取組み

西村鉄建工業では、「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同するとともに、事業活動を通じて SDGsの達成に貢献するため、2023年10月に「SDGs宣言」を策定している。この宣言では、経営理念に基づく取組みである「事業活動を通じた貢献」「環境への配慮」「働きやすい職場環境の整備」「地域貢献」の4つのテーマを設け、環境・社会・経済に好影響を与える様々なサステナビリティ活動を行い、持続可能な社会の実現と自社の企業価値の向上の両立を目指している。

今後はCO2削減や再生エネルギー活用、具体的数値化とステップアップを進めていくとともにラベルレスなどのグリーン調達の実施により安全で持続可能なまちづくりに貢献していく。

【写真④】：SDGs宣言書と太陽光発電



出所：西村鉄建工業 提供資料

4. サステナビリティ目標

西村鉄建工業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現に向けた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、西村鉄建工業の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、西村鉄建工業のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。